

富士フイルムホールディングス株式会社  
2022年3月期 第1四半期決算説明会  
主な質疑応答

Q: 連結業績予想の上方修正に寄与しているサブセグメントを教えてください。

A: ヘルスケアでは、好調なメディカルシステムとバイオ CDMO に加え、培地ビジネスが伸長するライフサイエンスも寄与する。マテリアルズでは、半導体需要が旺盛な電子材料や、モニター等の需要増が継続しているディスプレイ材料が寄与する。イメージングでは、チェキが北米を中心に販売が好調に推移している点も反映している。

Q: 営業利益の連結業績予想について、残りの第2四半期から第4四半期の前提を教えてください。

A: 1Q の進捗が非常に好調であったことから、上方修正額の上積みの可能性について検討を行ったが、半導体部材供給の逼迫、物流費の増加、アルミ・銀の原材料価格アップによるコスト増に加えて、新型コロナウイルスの流行拡大など、ビジネスを取り巻く環境の不確実性が引き続き高く、それらのリスクを勘案し、最低限達成すべき水準として今回の業績予想とした。

Q: メディカルシステムについて、富士フイルム、及び連結子会社した富士フイルムヘルスケアの業績をそれぞれ教えてください。

A: 両社ともに業績は好調に推移しており、クロスセルによる販売拡大や富士フイルムの IT 技術を適用して富士フイルムヘルスケアの大型モダリティをバージョンアップしていくなど、シナジー戦略もうまく機能し始めた。富士フイルムは海外輸出比率が大きく、富士フイルムの販路を活用することで、富士フイルムヘルスケアもグローバルでの売上を更に伸ばしていく。

Q: 中国政府が政府調達について国産品を優先するという通知を出しているが、当社の特にメディカル関連での中国ビジネスへ与える影響を教えてください。

A: 中国政府が国産品を優遇するという方針を打ち出したのは今回に始まったことではなく、当社では、既に一部の放射線診断機器や超音波機器について中国への生産移管を行うなどの対応を取っており、大きな影響はない。

以上